参加費無料

セキュリティの
インシデント対応を
体験しませんか？

サイバーインシデント演習 in 名古屋

中小企業は、サプライチェーンの最前線を担い、多くの取引先や関連企業と日々やり取りを行っていますが、サイバー攻撃を受けた場合に備えて、社内で意識を持ち、体制を構築した上で、セキュリティインシデント発生時の対応方法や手順などを共有しておくことが重要となっています。

そこで、最近のサイバーセキュリティインシデントの発生状況や、被害拡大を最小限にとどめるための基本的事項を説明し、擬似的なインシデント発生時対応手順を体験することにより、組織内の基本方針やルールなどを考えていただくことを目的として「サイバーインシデント演習」を開催します。

日時　2026年1月14日(水) 13:00～17:00
（12:30受付開始）

会場　TKPガーデンシティPREMIUM名古屋駅前 ホール3H
(愛知県名古屋市西区名駅1-1-17/JR名古屋駅 徒歩3分)
※講演・演習はオンラインによる聴講が可能です。
詳しくは申込みページをご確認ください。

定員　40名
※左記に加えてオンライン聴講枠がございます。
※定員になり次第、受付を終了いたします。

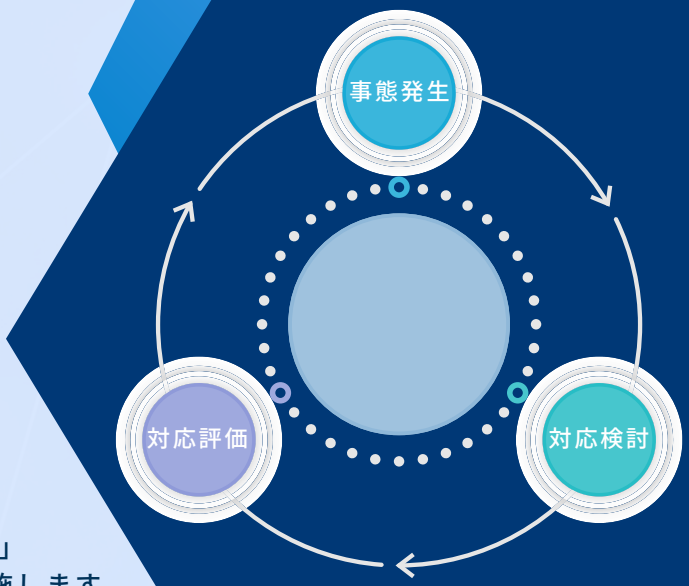
対象　中小企業／団体等の経営層、
セキュリティ責任者及び情報システム運用担当者の方等

主催等：総務省東海総合通信局
経済産業省中部経済産業局
後　援：東海サイバーセキュリティ連絡会

プログラム

第１部サイバーセキュリティ講演
[13:00～14:00]

■「サイバー攻撃の情勢及び対応策について」
昨今話題となっているインシデント事例などを紹介しながら
サイバー攻撃による被害拡大を最小限にとどめる
インシデント対応の流れを解説します。



第２部サイバーセキュリティ演習
[14:00～17:00]

■「セキュリティ事件・事故発生時の効果的な対応について」
・第1部の内容を踏まえ、参加者によるグループワークを実施します。
机上演習として疑似的なインシデント対応を体験いただき、インシデント発生から対応の検討、評価までのサイクルを、参加者が互いにディスカッション・意思決定しながら進めていく形をとります。
・またグループごとに配したパソコンを使用してインシデントとなりうるリスクを擬似的体験して、どのようにサイト誘導され、情報が盗まれるのかについて理解を深めます。

※2025年1月21日に実施した演習とは異なるテーマで実施いたします。
※本演習に参加される皆様同士でぜひ名刺交換いただければと存じます。(必須ではございません)
当日は名刺をご持参いただくことをお勧めいたします。

講師

株式会社川口設計
代表取締役　川口 洋 氏

2002年 大手セキュリティ会社にて社内のインフラシステムの維持運用業務ののち、セキュリティ監視センターに配属
2013年～2016年 内閣サイバーセキュリティセンター(NISC)に出向。行政機関のセキュリティインシデントの対応、一般国民向け普及啓発活動などに従事。
2018年 株式会社川口設計 設立。Hardening Projectの運営や講演活動など、安全なサイバー空間のため日夜奮闘中。

お申込みはこちら

［申込み期限］2026年1月7日(水)まで
[申込みページ]
https://www.kiis.or.jp/form/?id=256

※本イベントの申込受付及びご案内等は、
請負事業者である一般財団法人関西情報センター（KIIS）が行います。
※お申込みの際にお知らせいただいた氏名等の個人情報は
本イベントへの参加集約にのみ使用し本イベント終了後廃棄します。

お問い合わせ先

総務省 東海総合通信局 情報通信部
電気通信事業課
TEL：052-971-9403
Mail：tokai-jigyo-jigyo@soumu.go.jp